

◇・・・教育プラン重点事業

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】	文化財係・自由民権資料館・文学館
--------------------------------	------------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	- 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 - 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件		40件
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2023年度の事業実績>

実績値	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	- 考古・歴史・民俗資料に関する事業では、講座、出張授業、アウトリーチ展示など、62件の事業を実施しました。自由民権資料館主催講座では、多様な形式（「講義型」「セミナー型」「ワークショップ型」など）で、考古・歴史・民俗のプログラムを用意したことから、新規利用者の獲得につながりました。地域の歴史に関する小中学校向け出張授業では、より学校側のニーズに沿った授業内容となるよう、教員やボランティアコーディネーターへのヒアリングを実施し、2024年度からの内容の充実に努めました。 - 文学に関する事業では、ショートショート書き方講座、ショートショートコンクール受賞作品出張展示、キャリア教育授業、町田ゆかり作家紹介授業、遠藤周作展PR展示、遠藤周作展関連イベント、他課主催の講座への講師派遣など、24件の事業を実施しました。
課題	- 小中学校向け出張授業を各学校でさらに活用してもらうため、授業内容の充実とともに、担当する職員のスキルの向上及び平準化が求められます。 - 小中学校で出張授業を継続的に行うためには、学校側のニーズの把握、教員との良好な関係構築の他、授業の効果・メリットをアピールすることが重要です。
今後の取組の方向性	- 児童・生徒が、町田市の歴史や文化について自らもっと学びたいと思えるようにするため、デジタルコンテンツの活用や「ことばらんどショートショートコンクール」と連動させるなど、出張授業の内容充実・継続実施に取り組みます。 - 幅広い年齢層に事業を知ってもらえる出張展示を検討します。 - 玉川大学との協働により作成した文学ガイドブック「町田ブンガク」を活用して町田ゆかり作家や町田が登場する作品についての出張授業を実施します。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
--------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件	
	②SNS発信数		219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施	
	SNSを利用した情報発信				
	年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

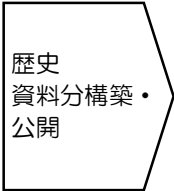
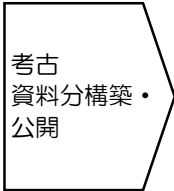
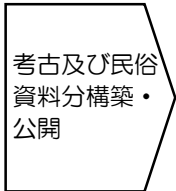
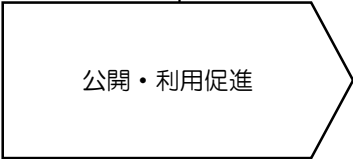
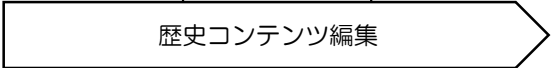
<2023年度の事業実績>

実績値（指標①）	22件
取組状況（指標①）	自由民権資料館の事業を市内各施設で実施しました：国際版画美術館でのまち歴講座・古文書講座12件、薬師池公園内でのまち歴講座・文化財ウィーク企画事業3件、文学館でのまち歴講座・講演会2件、図書館でのまち歴講座2件、市民フォーラムでのまち歴講座1件、町一中でのまち歴講座1件、市庁舎イベントスタジオでの展示1件、計22件
実績値（指標②）	124回
取組状況（指標②）	自由民権資料館：Twitter発信数124回
課題	・自由民権資料館が、自由民権運動とともに町田市の歴史を知ることができる郷土資料館であることを広く知ってもらうための新たなコンテンツが必要です。 ・歴史講座では幅広い利用者層を開拓するため、講座の内容、実施方法を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・歴史出張授業の充実や、いつでも、どこでも歴史に触れられるよう、デジタルコンテンツの作成や、民俗資料を学ぶための動画の作成に取り組みます。 ・考古・歴史・民俗の多様な情報をホームページやTwitterなどで積極的に情報発信を行います。

◇・・・教育プラン重点事業

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】

文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	町田デジタルミュージアム構築の進捗			未実施	システム構築完了、公開（2022年度）
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	 歴史資料分構築・公開	 考古資料分構築・公開	 考古及び民俗資料分構築・公開	 公開・利用促進	
	 歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

<2023年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	・2023年4月1日から2024年3月31日までの町田デジタルミュージアムのアクセス数が553,360件となり、目標値を大きく上回ったため、A評価としました。 ・自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの展示や出張事業を実施する際には、町田デジタルミュージアムの二次元コードを様々な場面で活用し、周知を図りました。 ・町田デジタルミュージアムを紹介する名刺型カードや、町田デジタルミュージアムの二次元コードが記載された「遺跡マップ」を町田ツーリストギャラリーなどで配布しました。 ・地域の歴史に関する小中学校向け出張授業では、タブレット端末を使って町田デジタルミュージアムの活用を図りました。
課題	・町田デジタルミュージアムの利用状況を検証し、公開内容の更新に向けた検討が必要です。 ・町田デジタルミュージアムをより多くの方に利用していただくための周知が必要です。
今後の取組の方向性	・まちだの歴史に関する展示やイベント等実施時には、町田デジタルミュージアムを積極的に活用します。 ・2025年度の町田デジタルミュージアムの内容更新に向けた検討を行います。

■取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進	文化財係
-------------------------------	------

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

*下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。

*細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

<2023年度の事業実績>

達成状況	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況	- 各文化財について、定期的な点検及び清掃を行いました。 - 下三輪玉田谷戸横穴墓群については、横穴墓群内の天井・壁の崩落の進行抑制措置として、土の風化の原因となる日光を遮断するため、横穴入口の扉の修繕を行いました。
課題	各文化財の状況観察を継続的に行い、保存措置を行いながら、整備を検討していく必要があります。
今後の取組の方向性	- 各文化財の劣化を最小限に抑えるため、必要に応じて応急的な保存措置を講じます。 - 下三輪玉田谷戸横穴墓群については、保存管理計画策定に向け、専門家の助言を得るなどし、順次検討を進めます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実				文化財係	
事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	文化財の公開・活用イベント件数		4件	6件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント5件実施	イベント6件実施
	イベント内容検証		イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討
年度目標	4件	4件	4件	5件	6件

＜2023年度の事業実績＞

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	以下7件の文化財の公開・活用イベントを実施しました。 ①町田市考古資料室特別開室（9月 2日間） ②旧荻野家住宅「パネル展示」 ③「スマホと歩こう！まちだウォーキングラリー」遺跡等10ヶ所 ④文化財防火デー（相原町 長福寺） ⑤旧荻野家住宅「雛飾り展示」 ⑥町田市考古資料室特別開室（3月） ⑦講演会・遺跡見学会「高ヶ坂石器時代遺跡～山本亀三が見た町田の遺跡～」
課題	・市内文化財の認知度向上のためには、庁内外と連携したイベントやデジタルを活用したイベント等を、今後も継続して実施していく必要があります。
今後の取組の方向性	・文化財が所在する公園や、近隣施設のイベントとあわせた公開やイベントを検討し、実施します。 ・文化財の公開や活用イベント時には、他の文化財のPRも積極的に行います。

■取組3-6 展示事業の充実	自由民権資料館
----------------	---------

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した市域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借用し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	資料館への満足度（来館者アンケート）		77%	85%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展	企画展・特別展	企画展・特別展	企画展・特別展	企画展・特別展
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

<2023年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・常設展に加えて、「町田のおカニコさん」と「市民の歴史探求事始め～町田自由民権力レッジ4期生の成果～」の企画展2回を公開しました。また、「町田のおカニコさん」の公開中に実施した自由民権資料館の愛称を決める投票では、合計308件の投票をいただき、最も得票数が多かった「まちれき」に愛称を決定しました。 ・企画展の来館者アンケートでは、「興味深かった」または「興味を持てた」と回答した方の割合は99%となり、多くの方から好評を得ることができました。
課題	・幅広い世代に展示を観覧してもらうための取り組みが必要です。 ・市域の史料を展示に活かせるように、史料の散逸を防ぐ取り組みや、史料整理を計画的に進める必要があります。
今後の取組の方向性	・幅広い世代に、展示内容の理解を深めてもらうため、企画展に合わせたまち歴史講座の実施や、図録を作成し販売を行います。 ・市内小中学校再編に伴う学校の歴史的な資料散逸を防ぐため、各学校及び関係部署と協力しながら、歴史的資料の評価や、保管に向けた体制を整えます。

■取組3-7 講座・講演会事業の充実				自由民権資料館	
事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	講座・講演会等の実施回数		60回	70回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

＜2023年度の事業実績＞

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・まち歴史講座では多様な形式（「講義型」「セミナー型」「ワークショップ型」など）で、考古、歴史、民俗の各プログラムを用意し開催しました。また、町田市固有の歴史資源を活用したアウトリーチ事業（小中学校への出張歴史授業、市民センターや子どもセンター等での講座の実施や展示、各地域の歴史資源を活用したフィールドワーク等）、自由民権資料館内での団体解説など、79件の講座を実施しました。
課題	・小中学校への出張歴史授業で、自由民権資料館を利用してもらうための広報や、活用していただくための授業プログラムやコンテンツの充実を図ることが必要です。
今後の取組の方向性	・小、中学校への出張歴史授業を活用してもらうためのプログラムを再編成します。 ・引き続き、考古、歴史、民俗のプログラムを、「講義型」「セミナー型」「ワークショップ型」などの形式で企画し、実施します。

◇・・・教育プラン重点事業

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・文学館
-------------------------	-------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	・自由民権資料館では、古文書講座や自由民権力レッシなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 ・文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

<2023年度の事業実績>

実績値（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	・地域で歴史を研究する団体が定期的に活動できるように支援を継続し、資料集刊行に向けた解説を継続して「晴雨日記2」を刊行するための準備が整いました。優先的に整理が必要であると選定した重要史料群4家の整理についても研究団体の協力を得ながら進めました。
実績値（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	・2021年度の自由民権力レッシ卒業生（4期生）と協働で開催した企画展では448人もの来館者を得ることができ、特に卒業生によるギャラリートーク開催日には多くの市民が来館されました。
課題	- 地域で歴史を研究する団体を支援するとともに、より多くの学習機会を提供するため、その学習するための資料となる史料整理を進める必要があります。 「町田自由民権力レッシ」の卒業生による団体との協働事業については、協働事業の維持・継続の手法もしくは改編の検討を視野に入れる必要があります。
今後の取組の方向性	・地域の歴史研究をする団体の活動を支援し、解説作業、重要史料群をはじめとする史料整理・目録作成作業を継続して行います。

◇・・・教育プラン重点事業

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】	文化財係
--------------------------	------

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稲荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗			整備着手	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本設計
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計	八幡平遺跡公開・見学会実施	高ヶ坂石器時代遺跡見学会実施	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設
年度目標	八幡平遺跡整備工事	牢場遺跡設計 八幡平遺跡整備	八幡平遺跡公開・見学会実施	牢場遺跡整備 ガイダンス施設基本計画	ガイダンス施設基本設計、展示基本設計

<2023年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・2018年度に取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施・完了し、2024年2月から公開を開始しました。当初の目標を達成したため、B評価としました。 ・整備状況をホームページで紹介しました。 ・整備工事完了後に高ヶ坂遺跡見学会（まち歴第10回「高ヶ坂石器時代遺跡～山本亀三が見た町田の遺跡～」）を実施しました。
課題	・未整備箇所の整備が必要です。 ・文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信等により遺跡の認知度を高める必要があります。
今後の取組の方向性	・八幡平遺跡の整備工事（植栽等）を実施します。 ・整備工事完了後に遺跡を活用したイベントを実施します。 ・高ヶ坂石器時代遺跡の整備工事完了に向け整備報告書を作成します。 ・2025年度には「高ヶ坂石器時代遺跡発見100周年」のイベントを実施するなど、遺跡の魅力を積極的に発信していきます。

■取組5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存				自由民権資料館	
事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	①史料整理数（累計）			42,000点	67,000点
	②目録作成点数			0件	3件目着手
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	史料の寄贈・寄託の受入れ、史料整理				
	史料目録作成（1件目）		史料目録作成（2件目）		史料目録作成（3件目）
年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点	67,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

＜2023年度の事業実績＞

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	- 市民ボランティアや大学等との協働作業などで史料整理を進め、計約3,000点の史料整理を行い、計約63,500点完了しました。学校再編に伴う学校資料の整理を優先させる必要があったため、目標値に達することができませんでした。 「浪江虔関係史料」、「野津田町・河井家文書」、「小川・細野家文書」、「相原・青木家文書」等の整理作業を進めています。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	史料目録の作成については、目録を公表する方法を紙の刊行物からインターネット上のデジタルコンテンツとして発表する方法に変更しました。広く活用できるように公表の準備を進めています。
課題	今後も、市史編さん事業を見据え市域の重要史料の整理に取り組む必要があります。
今後の取組の方向性	重要史料群（「野津田町・河井家文書」、「小川・細野家文書」、「小野路町・細野家文書」、「相原町・青木家文書」）の整理を優先的にを行います。